

JAとよころ広報誌

2023「秋号」

燐

か が や き



vol.220



旬の農畜水産物と町内産のフライドポテトが大人気!

とよころ産業まつり2023

大地に恵まれたまちの産物を観て、遊んで、食べて、豊頃の日を楽しむ秋の風物詩「海と大地の祭典とよころ産業まつり2023」（主催：とよころ産業まつり実行委員会）を9月23日に豊頃町農協多目的広場にて開催しました。

女性部は町内産の原料を用い、数日前から丹精込めて作った伝統のいも団子とかぼちゃ団子、こだわりの二度揚げ皮つきフライドポテトをたくさんのお客さんに振る舞いました。フライドポテトは当初準備していた量では足りなくなり、2コンテナを追加しました。いも団子とかぼちゃ団子も完売し、どちらも大好評でした。

青年部の乳製品販売は豊頃町酪農振興会協賛のもと、たくさんのお客さんに購入いただきました。また、昨年より始めたトラクター展示ですが、今年はヤンマーアグリジャパン株式会社にご協力いただき、たくさんの方が楽しみました。毎年恒例のじゃがバターや今年から始めた焼き・ゆでとうもろこしは完売するほどの大人気でした。また、射的・くじ引き・かたぬきは行列が途絶えない程の大盛況でした。

恒例の秋鮭つかみ取りには今年も多くの参加希望者がエントリーし、全身水浸しになりながら秋鮭を追いかけてました。

豊頃町の食材を使用した豊頃スープや豊頃中学校・町おこし協力隊の高橋夫妻・カレー番長ことカレー料理研究科チーム水野氏による最強タッグカレーの販売がありました。どちらも完売するほどの大人気でした。

ステージは豊頃中学校吹奏楽部の演奏やふかしたじゃがいもの品種を当てる「利きじゃがいも選手権」等を行いました。「利きじゃがいも選手権」には、農協青年部畑作部会長の村上剛丸さんと副部会長の斉藤京介さんがじゃがいも博士としてステージにてじゃがいもを面白可笑しく解説し、大いに盛り上がりしました。

当日は晴天に恵まれ、来場者の方は豊頃町の特産品や旬の農畜水産物とその加工品を存分に楽しみました。

青年部





女性部



青年部

える夢キッズ 調理&収穫体験2023夏

女性部



8月19日、町内の小学生（1年生から6年生）を対象とし、教育委員会主催のえる夢キッズに農協女性部（部長：佐藤嘉香）三役、農協青年部（部長：鈴木雄大）部員4名が講師として参加しました。午前中は、青年部が作った野菜を使用して『夏野菜カレー・フライドポテト・野菜スティック』を女性部と一緒に調理しました。カレー作り・フライドポテト作りと三班に分かれて調理を開始。

子どもたちみんなが「やりたい・やりたい」と率先して野菜を洗ったり、皮をむいたり、切ったりと、予定より早く調理を終わることができました。ちょっとしたハプニングもありましたがみんなで仲良く調理実習を終えることができました。待ちに待ったお昼ご飯。

全員で「いただきます!」「おいしい・おかわり」と自分たちで調理したご飯は格別! あっという間に

食べ終え、片付・休憩をはさんで、いざ収穫体験へ!

美味しいご飯を食べた子どもたちは、元気いっぱい。青年部員に教わりながら、にんじん、玉ねぎ、スイートコーン、じゃがいも、トマト、なす、きゅうりと大きく育った野菜をあっという間に収穫しました。収穫途中、休憩を挟みましたが、「次は何とるの?」「早くとりたい!」と収穫が楽しくてたまらない様子でした。

体験の終わりには、圃場で採れたスイカをみんなでお楽しみしながら休憩し、たくさんあったスイカがすぐになくなってしまった勢いに驚きました。

今年は春に播種体験を行いませんでしたが、収穫した野菜を美味しく調理して食べるという経験を通して農業をもっと身近に感じてもらう有意義な時間になったのではないのでしょうか。





豊小4年生へ今年度最後の食育授業

9月1日、豊頃小学校4年生を対象に今年度最後の食育を行いました。第3回目はいよいよ待ちに待った収穫体験です。人参、玉ねぎ、馬鈴薯、カブ、トマト、ナスの順にみんな真剣かつ楽しそうに収穫をしました。4年生が育てたいと言っていたカブを含め、たくさんの作物を収穫し、とても有意義な食育授業になったのではないのでしょうか。

体験の最後には、Pizza Nirvanaの竹村さんに圃場で採れた食材を使ったピザを作ってもらい、みんなで試食パーティー！焼きたてのピザがとても美味しかったようで、あっという間になくなりましたが、その後お家でご飯が食べられたか心配です。

後日、食育授業を終えて豊頃小学校4年生の皆さんからお礼のお手紙をいただきました！4年生の皆さん、ありがとうございました！



農村ホームステイ

9月2日、今年度より豊頃中学校に赴任した栄養教諭の田村香菜さんが農村ホームステイ（農業体験実習）を行いました。田村さんの担当業務は給食の献立作成、食材の受入、給食の味見など給食に関わる業務全般にわたります。

実習では、青年部員の鈴木さん宅で哺乳、えさやりの体験、加島さん宅で搾乳の体験を行いました。田村さんはこの後、実習体験をもとに振り返り学習を行います。

田村教諭のコメント

「農業と食育ということで、酪農体験を行いました。哺乳や搾乳などは、初めての体験だったので、とても新鮮でした。この経験を通して、日々の食生活は生産者さんの努力に支えられているということを実感することができました。これからの食育活動に活かしていきたいです。」



お祭りニュース 2023

8月12日にえる夢館駐車場にて商工会主催の『とよころ夏祭り』、9月23日に門工業協会の駐車場にて『なかま祭り』を開催し、農協青年部もお手伝いで参加しました。どちらのお祭りも天候に恵まれ、たくさんの方が訪れました。

夏祭りは、豊頃中学校吹奏楽部による演奏や子どもを対象にしたお菓子まき、ビンゴ大会や花火大会などたくさんの催し物があり、大盛況でした。また、夏祭りの花火は勝



毎の花火大会の花火師の方が作る花火を使用しており、とてもきれいでした。

なかま祭りは、産業まつり終了と共に開始し、ラムネ早飲み競争やイントロクイズ、「今年も体ゆらしてもらっていいですか？」をテーマにDiscoナイトを開催し、皆さん個性的なダンスで大いに盛り上がりました。

毎年いろいろなお祭りが開催されるので、皆さんで協力し合い、町を盛り上げていきたいですね。

パークゴルフ大会・懇親会を開催

生甲斐部

8月10日、茂岩山パークゴルフ場に部員12名、専務と職員3名の計16名が参加し、4組に分かれて全2コース、18ホールをプレーしました。冒頭、津久井清美部長は「天候にも恵まれ、気温も湿度も高いので、こまめに水分をとりながら、プレーを楽しみましょう。」と挨拶しました。

また、競技後は焼肉懇親会を開催し、部員のみなさんと役職員は久々の親睦を楽しみました。夏の旅行以来の交流のため、思い出話や50周年記念旅行に向けた話題は大いに盛り上がりました。

【競技結果】

※同点は年功順

- | | | |
|------|---------------------------|---------|
| 優勝： | 神谷 秀秋 ^{さん} （北 栄） | スコア 51打 |
| 準優勝： | 高橋 正市 ^{さん} （豊 頃） | スコア 56打 |
| 3 位： | 平井 昭徳 ^{さん} （十 弗） | スコア 58打 |
| 4 位： | 加藤 敏 ^{さん} （礼文内） | スコア 62打 |
| 5 位： | 舘 盛 保 ^{さん} （十 弗） | スコア 62打 |



十勝川の治水事業が 百年を迎えました

十勝川流域では明治時代から入植者による開拓が始まっていますが、当時の十勝川は曲がりくねっていて洪水被害を受けやすい地形でした。

そこで、開拓の中心地域である茂岩から西帯広までの延長56kmにも及ぶ区間に堤防、新水路掘削、護岸工事を実施するための計画が立てられました。大正12年、十勝川治水事務所が開設（現在の帯広市大通南1丁目）され、本格的な治水事業が開始されました。



十勝川治水事務所（昭和2年頃）



フンベ山からみた利別の三日月湖
三日月湖は十勝川蛇行の名残で現在は農地
(大正から昭和初期、帯広百年記念館所蔵)



十勝川を往来した川舟（五十石船）

開拓の大動脈 十勝川が運んだ人と物

明治期、十勝川沿いの地域は人と物の行き来が盛んでした。土地の豊かさでは十勝川沿岸が第一、利別川沿岸が第二とされ、多くの入植者たちが豊かな土地を求めて集まりました。

河口の大津は内陸へ向かう川舟の起点であり、十勝川をさかのぼっていくと、茂岩や武山、利別太などの船着場がありました。船着場には倉庫や商店が立ち並び市街地を形成。川を渡るための渡船場も整備されていきました。

一方で川沿いの入植者は水害に苦しめられました。十勝川を遡上して利別太フンベ山麓に入植した武山土平は水害に遭い武山に移住。その後地域の有力者になり、明治31年大洪水の被災者のために所有地を無償提供しました。その地は「武山市街」と呼ばれ、鉄道開通により止若に市街地が移るまで繁栄しました。

あのときのおもいで

もぐり橋の思い出と 渡船がつないだ地域の記憶

池田の水害でもっとも影響を受けたのは利別から川合の人たち。私が知るかぎり明治26年頃から入植されています。川のそばで作れるものといったらアワやヒエで、植えても毎年のような洪水のため、土や労働力の馬が流されてしまう。馬が食べるエン麦やコメ作りを熱望して少しでも高い豊田や青山へ土地を求めた人も。氾濫の名残が三日月や大曲など古い地名に残っています。今でこそ大規模経営が増えましたが、初代は神や仏もないものかという想いをもちながらも、その地で頑張っていました。

もぐり橋は4、5歳の頃、車で渡っていて恐ろしかった記憶が。荷馬車の馬がおびえて立往生することもあったと地域の人から聞きました。

明治から大正にかけて池田の中心は利別でした。利別太の渡船場が池田発祥の地。利別や川合、特に千代田の人は渡船を通じて池田ではなく止若（幕別）で鍋や釜などの生活用品を買い求めている。幕別の時計屋さんは今も利別に商いに来しています。千代田は幕別のお寺の檀家が多いそうです。鉄道開通で利別駅、池田駅に市街地が移った後も、そうした人と物の交流は現在も続いています。



池田神社 宮司
岩崎寿澄さん（62）

【もぐり橋】昭和31年川合新水路（利別川）工事にともない川合東36号線に架設された川合橋の通称。現在の川合大橋の約30m下流に位置。全国的にも珍しい増水時に冠水する橋で、朝ドラ主題歌で歌われるなど地域からも愛された。

第52回十勝総合畜産共進会(肉用牛)に 豊頃より8頭を出品!

7月13日～14日、十勝農協連家畜共進会(音更町)において第52回十勝総合家畜共進会(肉用牛)を開催しました。今大会において安藤誠氏出品の「りゅうふく」が第21部門において1等賞1席、若雌2の最優秀賞を受賞しました。皆さん日々の管理作業等の成果により今大会においても優秀な成績を収めました。結果は以下の通りです。



- ① 第18部 未経産(11ヶ月以上14ヶ月未満)
 - 1等賞2席 青田 恵一「こすもす」(秋忠平一秀菊安一福桜)
- ② 第19部 未経産(14ヶ月以上17ヶ月未満)※北海道繁殖種雄牛産子
 - 2等賞1席 篠島 太郎「さくらこ」(勝美系一勝早桜5一安福久)
- ③ 第20部(14ヶ月以上17ヶ月未満)
 - 3等賞 中原 淳一「さつき」(大山雲一華春福一安福久)
 - 1等賞2席 株式会社 武隈ブリーディングファーム「たけまさ60」(百合白清2一安福久一安茂勝)
- ④ 第21部 未経産(17ヶ月以上20ヶ月未満)※北海道繁殖種雄牛産子
 - 1等賞1席 安藤 誠「りゅうふく」(花之福一勝平1一勝早桜5) ※若雌2の最優秀牛受賞
- ⑤ 第22部 未経産(17ヶ月以上20ヶ月未満)
 - 2等賞4席 藤井 裕也「だいせんざくら」(大山雲一美津照重一光平照)
 - 2等賞3席 岡 光隆 司「だいせん」(大山雲一華春福一百合茂)
 - 1等賞2席 篠島 太郎「ゆりね」(百合白清2一華春福一安福久)
- ⑥ 第27部 父系群(11か月以上の同一父牛3頭一群)
 - 2等賞1席
 - 中原 淳一「さつき」(大山雲一華春福一安福久) ※十勝大山雲群の中の1頭として全道へ出品
 - 藤井 裕也「だいせんざくら」(大山雲一美津照重一光平照)
 - 岡 光隆 司「だいせん」(大山雲一華春福一百合茂)

第18回全道総合畜産共進会(肉用牛)に 豊頃より4頭を出品!

9月1日～2日、十勝農協連家畜共進会(音更町)において第18回全道総合家畜共進会(肉用牛)を開催しました。今大会において株式会社武隈ブリーディングファーム出品の「たけまさ60」が第3部門において1等賞1席、審査員特別賞として、体積・均称賞を受賞しました。皆さん日々の管理作業等の成果により今大会においても優秀な成績を収めました。結果は以下の通りです。



- ① 第1部 未経産(11ヶ月以上14ヶ月未満)
 - 3等賞 青田 恵一「こすもす」(秋忠平一はな30一秀菊安)
- ② 第2部 未経産(14ヶ月以上17ヶ月未満)※北海道繁殖種雄牛産子
 - 2等賞2席 篠島 太郎「さくらこ」(勝美系一ひみさくら一勝早桜5)
- ③ 第3部(14ヶ月以上17ヶ月未満)
 - 1等賞1席 株式会社 武隈ブリーディングファーム「たけまさ60」(百合白清2一みさき351一安福久)
 - ※審査員特別賞：体積・均称賞を受賞
- ④ 第8部 父系群(11か月以上の同一父牛3頭一群)
 - 2等賞1席 中原 淳一「さつき」(大山雲一くみこ一華春福)

豊頃酪農ヘルパー 特集

▶インターンシップ活動

豊頃酪農ヘルパー有限責任事業組合によるインターンシップを今年も開催しました。毎年いろいろな地域の方にご参加いただいております。少しでも興味をお持ちの方や周りでヘルパーに興味のある方がいましたらぜひご連絡ください！

▶JA 担当者からのメッセージ

酪農ヘルパーは地域の酪農家を支えるためになくてはならない存在です。

事務局として、利用農家の皆さん、職員の双方が働きやすい環境を作りたいと考えております。また、インターンシップ活動や採用活動を積極的に行い、安定した酪農サポートをできるよう尽力して参ります。

▶ホームページを公開中！

昨年よりホームページを開設しました。

豊頃酪農ヘルパーの魅力をたくさん紹介しておりますので、ぜひアクセスしてみてください！



ABOUT US

酪農ヘルパーについて



COMMENT

採用担当者から



MESSAGE

組合長メッセージ



CONTACT

応募・問い合わせ



ぜひ皆様にご紹介をお願いします！

豊頃酪農ヘルパー

検索



すみれ部会 花壇整備

暑い夏が終わり、いよいよ冬に近づいてきた10月13日。
すみれ部会（部会長：愛澤悦子）の役員で花壇の冬支度をしました。春からマリーゴールド・サルビアで埋め尽くされていた花壇、夏の高温で一時は枯れてしまうのではと心配しましたが、『今まできれいに咲いていてくれてありがとう』『まだもったいないね』と惜しみながら一本・一本抜き取りました。また来年も皆さんに楽しんでいただきたいと思います。



ハロウィン2023

～青年部でハロウィン
カボチャを設置～

10月17日、今年も青年部で育てたハロウィンカボチャを飾り付けし、町内の保育所と小学校に設置しました。カボチャは例年通りの大きさ、きれいな形ができました。ハロウィン用のカボチャはいくつか種類があり、手のひらサイズのものから巨大なもの、形や模様が様々なものと多種多様です。いろいろな種類を育て



太津保育所



茂岩保育所

ることは大変ですが、子どもたちが喜ぶことを考えればやりがいがあります。来年に期待ですね！

鈴木雄大部長のコメント

「毎年設置をしますが、子どもたちも毎年喜んでくれるので、とてもうれしいです。今後もこのような活動を続けていきたいです。」



今回の表紙を飾っていただいたのは、豊頃小学校2年生の石田蓮人くん、茂岩保育所ぞうぐみさんの石田颯人くん兄弟（石田雅哉さんのご子息）です。今回は、お父さんの雅哉さんに撮影していただきました。お忙しい中、撮影にご協力いただきありがとうございます。



編集後記

長かった夏が終わり、朝晩の冷え込みが厳しい季節がやってきました。毎年ストーブを焚くタイミングを妻と協議していますが、物価高の影響が重く家計にのしかかり、スイッチに手が伸びるのはもう少し先になりそうです。

組合員の皆様におかれましては、収穫シーズンの終盤に差し掛かり、連日の作業による疲労が蓄積しているかと思いますが、お体に気を付けてお過ごしいただきたく存じます。 企画係 T. M

日没が早くなり、気温も下がりましたね。もう秋です。秋といえばお月見です。今年は9月29日に十五夜でしたね。皆さんはお月見しましたか？ちなみに、僕は月を見ながらお団子を食べました。というよりはお団子がメインなのかもしれないですね（笑）。

それはさておき、今年は満月でしたが、中秋の名月（十五夜）と満月が重なることは意外と少なく、次に見ることができるのは、7年後の2030年のようです。ということは、今年・昨年・一昨年と満月だったのですごくいいことですね。2030年のお月見は必見ですね！ 企画係 T. S